

浪華丸の保存と展示を目指して

参加費無料

たかみ まさひろ
■ 講師: 高見 昌弘

2023年5月27日(土) 14:00~16:00 Zoomにて開催 (ルームオープン 13:30)



浪華丸帆走 (1999年7月)



三分の一縮尺「浪華丸」から福餅撒き
第7回天保山まつり (2014年11月)

●菱垣廻船「浪華丸」

大阪府が市制100周年の記念事業として復元建造した菱垣廻船(ひがきかいせん)。1994年に復元のための調査を開始、設計・木材調達・模型製作等を経て、1998年4月~1999年7月に日立造船堺工場で建造。1999年7月29日~8月1日、大阪湾で帆走実験を行った。2000年7月に開業した大阪市立の海事博物館「なにわの海の時空館」のメイン展示物であったが、同館は2013年3月10日に閉館。浪華丸は現在も館内にあるが、公開されていない。



浪華丸見学会 旧なにわの海の時空館にて (2023年4月21日)

なにわの海の時空館 閉館から10年

浪華丸見学会 (2023年4月21日) の報告

今回、「浪華丸」の状態が確認できた。2025年大阪・関西万博をチャンスと捉え「浪華丸」の再興へとつながりたい。

2013年より1/3縮尺の試作船を利用して1/3サイズで浪華丸を再現。

山車として大阪港/天保山でのお祭りに活用している。

地域の賑わいと「浪華丸」の存在を市民に紹介してきた今、いよいよ本丸へ、菱垣廻船「浪華丸」の保存と展示を目指してネジを巻きます。

■ 高見 昌弘 (たかみ まさひろ) 日本海事史学会会員

1958年生まれ。兵庫県伊丹市在住。1993年から大阪市のセイルトレーニングシップ帆船「あこがれ」にボランティアスタッフとして関わる。(帆船「あこがれ」は、現在帆船「みらいへ」として活躍中) 帆走理論についての講演会で野本謙作先生との出会いが菱垣廻船「浪華丸」に繋がり、帆走の実現に向けた協力へ。1999年7月、「浪華丸」の帆走実験にもボランティアで乗船。以来、「浪華丸」再興に向けた催事の活動を続けている。

- 関心をお持ちの方ならどなたでもご参加いただけます。メールでお申し込みください。

※希望者多数の場合は抽選とさせていただきます。
お申込みいただいた方には5月24日(水)までにご連絡いたします。

- 会員にはメールでご案内をお送りしています。メールが届いていない方は、右の申込先までお問合せください。

■ 申込〆切: 2023年5月23日(火) 正午(12:00)

■ 申込先: kaijishi.web@gmail.com (担当: 大野)

メールの件名を「日本海事史学会 Web 例会申し込み (非会員)」として、本文にはお名前をお書きください。

[今後の例会 開催予定日: 6月24日(土)・7月22日(土)]

日本海事史学会は、海事一般に関する歴史・法律・民俗・水産・考古・船舶・航海・海運など、海事史だけにとどまらずひろく海の人文、社会科学等あらゆる分野に関心を持つ学界や在野の研究者の方々の交流をはかる総合研究の“場”です。

【主な活動】専門学術誌『海事史研究』の発行(年1回) / 総会(年1回)・例会(8月と総会開催月を除く年10回) など

